

- (1) 単元名 Program 4 リサイクル活動「Sunshine English Course 1」開隆堂
- (2) 本時のねらい
・名詞の単数形・複数形を用いた短い英文の内容を正しく聞き取ることができる。
- (3) 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動	指導のポイント
導入	・本時のめあて・流れを教員と確認する。 【課題設定】	・本時のめあて・流れを板書する。
目標 名詞の単数形・複数形を用いた短い英文の内容を正しく聞き取ることができる。		
	・3分リスニングを使用して前回の授業の復習をする。「What を用いた疑問文」	
展開	・名詞の単数形・複数形のスライドを用いて図解を交えながら学習する。提示した絵について I have (need・want) ○○. を用いて練習する。 【情報収集】 ・名詞の単数形・複数形の要点をノートにとる。 【整理・分析】 ・名詞の単数形・複数形を用いたまとまりのある英文を聞き取る。(リスニング) 【情報収集】 【整理・分析】 ・i プリ (プリント) を解く。 ・同時進行でミニ Speaking Check 【まとめ・表現】	・電子黒板使用 ・スライドを使用している際は、指でスペルを書かせる。 ・支援の必要な生徒は「板書シート」を配布する。 ・ノートを取らせ、書く習慣を付けさせる。 ・デジタル教科書使用 ・i プリを用いて学習した内容を意識して書き、学習の振り返りとともに書くことの定着を促す。 ・教員との Speaking Check を行うことで、その場で考え応答する経験を積ませる。
まとめ	・本時の学習内容を再確認する。 ・宿題を確認する。	・口頭での確認



【ICT 活用のポイント】

日本語にはない名詞の単数形・複数形に苦手意識をもたせないよう、ピクチャーカードを用いて視覚からの理解を促す。

リスニング学習の際はデジタル教科書を使用する。支援が必要な生徒が教科書だけではなく、デジタル教科書も視覚情報として取り入れられるよう配慮する。

【実践を振り返って】

本時は文法の導入のため、視覚や音声からの情報を重視し、知識の定着を促した。しかし書くことに苦手意識をもっている生徒が多いため文法の知識を定着させた後、書くことへ指導の重点を置いていくべきだと考える。授業で使っているピクチャーカードを用いて、絵の表す状況を言うだけではなく書けるようにし、バランスよく4技能を養うことのできる指導を実践していく。